令和２年１月２３日　00466 号

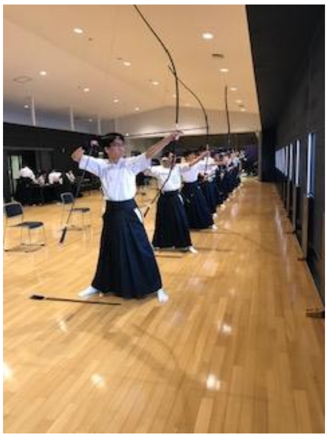
編集者：佐 藤 寿 春
北見市幸町８丁目 4-4(佐藤整骨院内)
NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行
直通:090-5986-0839
代表：0157-２２-２２１２　Fax:0157-23-0581
satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ＵＲＬ　http:∥www.kitamibudokan.org/

ニュースレター【事務局情報】　雪の無い年越し2

寒暁の息つまるごと野付牛　１月の寒の夜明け前、盆地の街北見は、急速に気温が下がり、喉を刺すような厳しい気温となる。**渡部彩風**　※野付牛は北見市の旧名（野付牛町）今年の北見は記録的に積雪が少なく、天気図では北と南の低気圧通過のはざ間にあり、雪のマークがいつも北見地方をさけて通っているようです。雪が少ないと、除雪や車の運転は楽ですが、寒さが身にしみ、スキー場や農作物には影響がありそうです。北見市は盆地祭りが盛んですが、その地形の影響で、夏暑く、１月の寒さの冷え込みは、より厳しく、毎日のように真冬日が続いています。１月２１日になって、ようやく雪らしい雪が降りましたが、１月２２日からは、また快晴が続きます。大寒も、おだやかに過ぎました。〈渡部〉

北見柏陽高校主催「2020百射会」・柏悠会主催「新年板割り会」が行われました！

１月１８日（土）北見市武道館弓道場では「百射会」。道場３では空手の鏡開き「板割り」が行われました。**「百射会」**では、北見柏陽高校生３７名に一般６名が加わっての弓道大会で、約９時間をかけて、１人が、２８メートル先の的に、四ツ矢２５立（4 本の矢を持ち、25 回矢を射る）合計１００射し、当たる数を競う恒例の大会です。お菓子などの賞品も用意されるなど、高校生と社会人が、毎年恒例の百射会を楽しみました。また、空手の**「板割り」**では、子供たちが、素手で木板を「バキィン」と軽快に割り、勇ましい姿を披露しています。中には、うまく割れずに、「コツ」と板にはねかえされ、「痛ててて」と手を振るさまに、笑いを誘う場面もあり、集まった指導者や保護者も一緒に楽しんでいました。〈坪井〉

武道振興協会事務所の花シリーズ　「小浜ぎく」

浜菊の仲間で 10 ㎝弱の丈にピンク色の 2～3 ㎝の花が一枝に１個可愛く咲きます。その枝は多く集まり、「小浜ぎく」がビッシリと咲いています。　この花がさく頃、秋の訪れを感じています。〈渋谷〉

連載「武道宝鑑」第22弾　剣術極意（千葉周作遺稿『剣法秘訣』より）剣術修行心得（41日回目）

剣術六十八手　**面業二十手**

片手延面　　右同じ構えに守り居るを、此の方より向こうを追い込みて、左の手を離し、右片手にて面を打つをいう、但し此の打ちは甚だ軽くして、敵に強く当たらぬ業なり。

深籠手懸面　右同じ構えに守り居るを、此の方太刀を左の肩へ取、向こうの右籠手を打たんとすれば、向う下段に守りて其の籠手を防ぐ、その處を逃がさず、飛び込みて面を打つをいう。・・・つづく